

審査項目別運用表

別紙-3①

審査項目	細別	対象/該当	「評価対象項目」	(検査員)
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/>	<p>●評価対象項目</p> <p>△契約書第18条第1項第1号~5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</p> <p>施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したのものとなっていることが確認できる。</p> <p>工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p>現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</p> <p>立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</p> <p>建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p>△施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p>△下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。</p> <p>△品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</p> <p>工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</p> <p>△社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>その他 理由: _____</p> <p>※必要があれば△項目を追加する。</p> <p>施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p>施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<input type="checkbox"/>		
印刷メニュー				
	未判定	-	適切である	

審査項目	細別	該当	「評価対象項目」	(検査員)
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、</p> <p>_____ 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。</p> <p>_____ 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。</p> <p>_____ 測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p>△社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>その他 理由: _____</p> <p>※必要があれば△項目を追加する。</p>	
		<input type="checkbox"/>		
	未判定	-	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
		-	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	

審査項目別運用表

別紙-3⑩-追加

審査項目	細別	対象/該当	「評価対象項目」	(検査員)
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/>	<p>品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、</p> <p>_____ 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。</p> <p>_____ 測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。</p> <p>_____ 測定値が規格値を満足し、a, bに該当しない。</p> <p>ばらつきの判断ができないので評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p> <p>●評価対象項目</p> <p>使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>材料の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。</p> <p>現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>施工箇所以外の部分に損傷を与えないよう工夫していることが確認できる。</p> <p>施工条件や気象条件を考慮して施工したことが確認できる。</p> <p>緊急的な作業に対応できる体制を整えていたことが確認できる。</p> <p>施工時期や施工場所について地域や環境への配慮をしたことが確認できる。</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材係数)の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</p> <p>施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。</p>	
		<input type="checkbox"/>		
			<p>締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。</p> <p>掘削箇所において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</p> <p>コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。</p> <p>鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>二次製品の品質照合の書類(現物照合)が整理されており、設計図書で指定する品質を満足していることが確認できる。</p> <p>対象物に有害なクラック、損傷が無い。</p> <p>水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>その他()</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p>	

	□	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
未判定	-	ばらつきでの判定不可能であり、評価値は、cである。

考査項目別運用表

●判断基準

考査項目	細別	該当	「評価対象項目」	(検査員)
3. 出来形 及び 出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	□	<p>●評価対象項目</p> <p>関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 仕上げがよい。 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さが伺える。 施工対象物の通りが良い。 細部まできめ細かな施工がされている。 全体的な美観がよい。 クラック、隙間、がたつき等がない。 総合的な機能がよい。</p>	
		□		